

録風 Ryokuhu Ooigawa おおいがわ

Vol.86
2025.秋号
森林組合おおいがわ



7月18、19日に組合役員の林業先進地視察研修のため岐阜県を訪問しました。
岐阜県立森林文化アカデミーでは、学生が設計・建築に携わった施設等をご案内いただき、林産業技術だけでなく人の歴史とともに育まれてきた森林文化も大切に継承されていることが感じられました。

飛騨市林業振興課様からは飛騨の広葉樹の森づくりをご説明いただきました。気候条件や鳥獣の生息状況、材の流通過程などは当地との違いがありますが、今後の森林経営の可能性の一つとして魅力あるものでした。



令和7年の夏も猛暑日が続き、3年連続で厳しい暑さとなりました。この一年程では、2月の岩手県をはじめ全国で山火事が多発し、また線状降水帯の発生も増え北陸や九州などで集中豪雨に見舞われました。県内でも9月に国内最大級の竜巻が発生し、大きな被害を受けました。いずれも地球温暖化に伴う気候変動が要因であると指摘されています。

森林は二酸化炭素の吸収や炭素の貯蔵、木材利用による化石燃料の使用削減などを通じて、地球温暖化防止に大きく貢献します。当組合としても持続可能な森林管理と資源の循環利用の適正化に一層努めてまいります。

令和6年度（令和6年7月～令和7年6月）は、組合員の皆様や行政機関のご理解とご協力のもと、11,602m³の素材生産や森の力再生事業での180haの環境伐を行うことができました。また、当組合が施工した皆伐地を中心に4.34haの再造林を行いました。

私達の暮らしを支える経済活動は、自然環境に影響を与えます。環境負荷が高まる中で、森林による災害緩和機能や脱炭素への貢献、生物多様性の保全などが適切に働くためには、現場に即した林業経営と地域一体となった森林管理が必要です。令和8年4月に施行する改正森林経営管理法の主旨を踏まえた関係市町の施策に対応していけるよう、組織力や知見を高めます。また、森林管理に対する地域からの期待や再造林の推進に応えるためには、継続的な人材の確保と育成が必要です。川根本町で発足した特定地域づくり事業協同組合への参画や地域おこし協力隊の誘致、採用活動の強化とあわせて、組織内の人材育成体制を整備していきます。

最後に、令和6年度の当森林組合の事業にあたり、ご理解とご支援を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。今後も地域と共に持続可能で多様な森づくりに努めてまいります。

第24期財務報告書

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
流動資産	441,554	流動負債	91,500
固定資産	149,323	固定負債	39,155
		負債合計	130,655
		純資産合計	460,222
資産合計	590,877	負債・純資産合計	590,877

令和7年6月30日現在

(2) 損益計算書

(単位:千円)

分 類	科 目	金 額
Ⅰ事業総損益	事業総収益	720,016
	事業総費用	492,690
	事業総利益	227,326
Ⅱ事業損益	事業管理費計	184,702
	事業利益	42,625
Ⅲ経常損益	事業外収益	657
	事業外費用	842
	経常利益	42,439
Ⅳ特別損益	特別利益	2,091
	特別損益	2,091
	当期純利益	42,439
Ⅴ剰余金	法人税等	12,750
	当期剰余金	29,689
	前期繰越剰余金	6,149
	未処分剰余金	35,838

令和6年7月1日～令和7年6月30日

FSC®森林認証の年次審査が行われました

令和7年9月11日、12日の二日間にわたり、森林組合おおいがわが事務局を務める森林管理認証取得者「F-net大井川」に対するFSC（Forest Stewardship Council：森林管理協議会）認証の年次審査が行われました。

審査は年に一度、第三者機関であるアマタ株式会社が実施するもので、施業地での現地審査および書類審査を通じて、FSC規格に沿った管理がされているか確認されます。規格は

「環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかなう、経済的にも継続可能な森林管理」を具現化する10の原則（法律の遵守、労働環境、森林の便益、地域社会との関係、環境影響など）を定めており、5年の更新期間において全項目が厳格に審査されます。今回は、特に森林管理がもたらす環境影響の把握や、その回避や低減のための管理計画や評価手法について重点的に確認しました。

F-net大井川の森林管理計画や取り組みの詳細はウェブサイトで公開していますのでご覧ください。



熱中症予防管理者教育を実施

9月3日に現場作業班長と職員を対象とした熱中症予防管理者教育を実施しました。

2025年6月1日から、職場における熱中症対策を強化する改正労働安全衛生規則が施行されました。これまでは熱中症の重篤化を防止するための事業者の対応は「努力義務」とされていましたが、本改正により法令で明確に義務付けられることとなり、違反時には罰則の対象になることが大きな変更点です。

近年の気候変動の影響から熱中症による労働災害は増加傾向にあり、今年も9月下旬まで気温が30度を超える日が続きました。令和6年の職場での熱中症による死傷者数（休業4日以上）は全国で1,257人と過去最多となり、こうした状況を踏まえて今回の教育では実務上の対策について理解を深めました。

屋外作業では空調服の使用や、こまめな水分や塩分の補給、適宜の休息などの対策を徹底するとともに、熱中症の症状が現れた場合には直ちに作業を中止するよう心掛けましょう。



GNSS測量機器を導入しました

当組合では新たに「Geode」というGNSS測量機器を導入し、主に施業境界の測量（面積計測）に活用しています。

GNSS（Global Navigation Satellite System：全球測位衛星システム）とは、アメリカのGPSをはじめ、EUのGalileo、ロシアのGLONASS、中国のBeiDou、日本のみちびき（準天頂衛星システム：QZSS）など、複数の衛星測位システムの総称です。測位衛星から発信された電波信号が受信機に到達するまでの時間をもとに、衛星と受信機の距離を計算し、位置のわかっている複数の衛星を基準に受信位置を特定する仕組みです。地上の基準局からの補正情報を利用する機種では、誤差数センチメートルという高精度の測位も可能です。



十数年前のアナログコンパスと巻き尺を用いた測量から、デジタルコンパス付きレーザー測量機に代わり記録を瞬時に行えるようになりましたが、これら従来の方法は測点間の見通しを確保する必要があり時間も手間もかかりました。GNSS測量では上空さえ開けていれば短時間で測定でき作業の安全性向上と省力化が進みました。

モビリタ安全運転講習



9月3日（水）に富士スピードウェイで行われたトヨタ交通安全センター モビリタの安全運転講習に参加し、ABS（急ブレーキでタイヤがロックするのを防ぐシステム）とVSC（横滑り防止装置）の効果と限界の体験をしました。プログラムは、時速100kmからフルブレーキを行い前方の障害物を回避する体験と、凍結路面を再現したコースにてアクセル全開でハンドルを操作しながら走行する体験でした。車の安全技術は進化していますが、その機能には限界があるため、心にゆとりをもち、譲り合いの精神を大切にして、安全運転を心がけたいと思います。

第15回

編集員のつぶやき

今年も藤枝では本郷花火大会が開催されました。コロナ禍が過ぎ、今年は屋台が復活して活気が戻ってきました。当組合の藤枝事業所では花火を目の前に慰労会を行ないました。フィナーレでは株式会社イケブン様による大スターメインが打ち上げられ、瀬戸谷の夜空を彩りました。

11月15、16日には藤ノ瀬会館で「せとやまるかじり」が開催されます。地場産品の直売、各種模擬店、太鼓や楽器演奏・ダンス、みかんの皮飛ばし、餅まき等が予定されています。瀬戸谷の秋を味わいに、ぜひお越しください。



静岡県森連静岡営業所市況速報

令和7年9月25日 2691回

△強気配 ○保合 ▼弱気配

樹種	長さ(m)	末口径(cm)	落札価格	気配	摘要	昨年同期中値(円)
す	3.0	14	12,000	708	○ 柱目 3.5寸	11,000
		16~18	14,000	1,218	○ 柱目 4寸	13,000
		20~22	15,000	1,848	○ 中目	14,000
		24~	16,000	2,842	○ 中目	14,000
		8~12	350	-	○ 本 @	300
	4.0	13	13,000	884	○ 母屋取り	10,000
		14	13,000	1,014	○ 桁目 3.5寸	13,000
		16~18	14,000	1,624	○ 桁目 4寸	13,500
		20~22	15,000	2,464	○ 中目	13,500
		24~28	18,000	4,050	○ 中目	16,000
ぎ	6.0	30~34	20,000	6,150	○ 二番玉節少	16,000
		36~	23,000	7,770	○ 根玉選木	15,000
		16~18	-	0	- 通し柱	-
		20~22	-	0	- 通し柱	-
	3.0	14	20,000	1,121	○ 柱目3~3.5寸	17,500
		16	25,500	2,550	○ 柱目3.5~4寸	22,000
		18	23,160	2,860	○ 柱目 4寸	21,000
		20~22	22,000	2,772	○	18,000
		24~	45,200	4,466	○	18,000
ひ	4.0	8~12	380	-	○ 本 @	380
		13	17,000	1,156	○ 3寸取り	15,000
		14	20,000	1,482	○ 土台目3.5寸	19,000
		16	22,000	2,142	○ 土台目3.5寸	19,000
		18	22,000	2,730	○ 土台目 4寸	19,000
	6.0	20~22	21,000	3,344	○ 中目縁甲取り	18,000
		24~28	33,000	5,940	○ 中目	20,000
		30~34	31,000	9,020	○ 二番玉節少	20,000
		36~	52,100	15,540	○ 根玉選木	25,000
		16	24,000	4,152	○ 通し柱 3.5寸	24,000
き	6.0	17	26,000	4,498	○ 通し柱 4寸	26,000
		18	29,000	6,293	○ 通し柱 4寸	29,000
		20	24,000	6,408	○ 通し柱	24,000
		22	-	-	○ 通し柱	-

○ 秋の気配 ○

猛暑が続いた夏もひと段落。朝晩は、だいぶ涼しく秋の訪れを感じます。

今回市は、買い方の出足もよく、好調な売り払いとなりました。特に桧中目材や良材の引き合いが強く、今後も期待できそうです。一方ヒノキ構造材は、相場は維持しているものの、勢いにかける印象です。スギについては全体的に堅調でした。この流れが続くよう注力してまいります。

今回は「木の日協賛記念市」です。売れ行きも好調ですので、皆様のご出材を心よりお待ちしております。



乾しいたけ市況

出品数量 7,424kg

(令和7年9月25日)

〈 保 合 〉

総平均値 6,444円

どんこ系 6,753円

こうしん系 6,118円

前回(7月23日入札会)に続き岩手県産特集で、厚肉系のものに対しての期待は高く買い気は強かった。総じて、相場は前回同様となったが、並品以下で保管の悪いものについては値を下げて来た。

組合員のみなさまへ

令和6年4月から、相続によって不動産を取得したことを知った日から**3年以内に、相続登記の申請**を行うことが義務となりました。組合員名簿及び出資証券の名義変更も必要になりますので、お手数ですが森林組合までご一報くださるようお願い申し上げます。

また、令和8年4月1日からは、不動産の所有者は住所・氏名に変更があった日から**2年以内に変更の登記**を申請しなければならない、とされました。施行日以前の変更についても対象となります。詳しくは法務局のホームページの不動産登記申請手続をご確認ください。

椎茸種駒・春季山行苗木の予約受付について

森菌 1,000駒入り 菌與菌 800駒入り

5,038円^(税込)

4,048円^(税込)



※昨年より値上げされています

異常気象により在庫の品質管理が難しくなっております。販売は予約分を優先させていただきますので、在庫切れが予想されます。何卒ご了承ください。

令和8年春季山行苗木

スギ・ヒノキ・コナラの裸苗は数に限りがございますので、お早めの注文をお願いいたします。

(コナラ苗の予約は年内で締切りとします)

ご注文先 本 所 0547-30-2111
北部森林センター 0547-59-3163

発

行

森林組合おおいがわ

〒427-0233 静岡県島田市身成162番地

TEL 0547-30-2111 FAX 0547-30-2112

Mail shinrin-ooigawa@snow.ocn.ne.jp

URL <https://www.ooigawa-jforest.jp>